

事例番号:350215

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第三部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 40 週 2 日

9:00 巨大児出産予防のため陣痛誘発目的で搬送元分娩機関に入院

4) 分娩経過

妊娠 40 週 2 日

9:58- オキシトシン注射液による陣痛誘発

14:23 頃- 胎児心拍数陣痛図で早発一過性徐脈または遅発一過性徐脈、
基線細変動の減少を認める

14:42 頃 嘔吐様の反応あり

14:45 上半身反張、意識消失を認める

14:45 頃- 胎児心拍数陣痛図で高度遷延一過性徐脈を認めたのちに胎
児心拍数 80-90 拍/分位の徐脈を認める

14:47 心停止、呼吸停止

15:09 当該分娩機関に母体搬送となり入院

15:17 死戦期帝王切開により児娩出

分娩後 10 日 病理解剖で血清の補体 (C3、C4) および C1 インヒビターが低値、肺血
管内に散在する程度のアムリアンブルー陽性反応を認める

5) 新生児期の経過

- (1) 在胎週数:40 週 2 日
- (2) 出生時体重:4100g 台
- (3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.67、BE -32.2mmol/L
- (4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 3 点
- (5) 新生児蘇生:気管挿管、人工呼吸(チューブ・バック)
- (6) 診断等:
出生当日 重症新生児仮死
- (7) 頭部画像所見:
生後 4 日 頭部 MRI で低酸素性虚血性脳症の所見を認める

6) 診療体制等に関する情報

<搬送元分娩機関>

- (1) 施設区分:診療所
- (2) 関わった医療スタッフの数
医師:産科医 1 名
看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 2 名

<当該分娩機関>

- (1) 施設区分:病院
- (2) 関わった医療スタッフの数
医師:産科医 3 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名
看護スタッフ:助産師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、分娩経過中に生じた胎児低酸素・酸血症により低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考ええる。
- (2) 胎児低酸素・酸血症の原因は、羊水塞栓症による妊産婦の呼吸循環障害によって子宮胎盤循環不全が起こったことである可能性が高い。
- (3) 胎児は、妊娠 40 週 2 日の 14 時 23 分頃より低酸素の状態となり、その状態が 14 時 45 分頃から急激に進行し胎児低酸素・酸血症に至ったと考える。

3. 臨床経過に関する医学的評価(2020年4月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 搬送元分娩機関

- ア. 妊娠40週2日巨大児出産予防のため陣痛誘発目的で入院としたことは一般的である。
- イ. キシトシ注射液を使用する際に、書面により同意を取得したことは一般的である。
- ウ. キシトシ注射液の投与方法および投与中の分娩監視方法(連続して分娩監視装置装着)は、いずれも一般的である。
- エ. 妊産婦に意識消失、心停止、呼吸停止が出現した際の一連の対応(血圧測定、人員召集、分娩監視装置継続、胸骨圧迫、バッグ・マスクによる人工呼吸、高次医療機関への母体搬送依頼の実施)は適確である。

(2) 当該分娩機関

- ア. 搬送元分娩機関からの連絡により救急科、麻酔科、NICUならびに手術室スタッフが協働して搬送後の対応の準備(手術室の準備)を行ったこと、到着後に母体蘇生処置を継続しつつ胎児心拍を確認して、死戦期帝王切開を決定し直接手術室へ搬送したこと、および到着から8分後に児を娩出したことは、いずれも適確である。
- イ. 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- ウ. 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸)は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

羊水塞栓症の原因が究明され、妊産婦の呼吸循環障害や意識障害、胎児機能不全に対する対処法が確立されることが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。